

アルゼンチン

2021年8月12日

海外調査部・ブエノスアイレス事務所

2020年のアルゼンチン経済は、内需、外需ともに落ち込み、実質GDP成長率がマイナス9.9%となった。貿易は、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の拡大による世界的な景気の悪化を受けて輸出入ともに前年比2ケタの減少を記録した。対内直接投資は、自動車製造業、鉱業・エネルギー分野で新規投資の動きがみられた。他方、小売業では外資大手が相次いで撤退を発表した。

■ 3年連続のマイナス成長

2020年は、新型コロナの感染拡大に加え、通貨安、高インフレといったアルゼンチン経済が抱える構造的な問題も浮き彫りになり、厳しい1年だった。2020年の実質GDP成長率はマイナス9.9%と大幅に落ち込み、3年連続のマイナス成長だった。需要サイドでは民間消費の、供給サイドでは運輸業、製造業、宿泊・飲食業の落ち込みがGDPを押し下げた。

表1 アルゼンチンの需要項目別実質GDP成長率

	2019年	2020年					2021年
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	△2.0	△9.9	△5.0	△19.0	△10.2	△4.3	2.5
民間最終消費支出	△7.3	△13.8	△6.3	△23.8	△14.9	△8.6	△0.7
政府最終消費支出	△1.2	△3.3	△0.7	△7.6	△5.7	0.8	△0.5
国内総固定資本形成	△15.9	△12.9	△18.2	△38.2	△8.9	15.8	38.4
財貨・サービスの輸出	9.1	△17.3	△4.0	△13.1	△17.1	△32.4	1.2
財貨・サービスの輸入	△19.0	△17.9	△15.4	△30.2	△21.5	△2.6	18.8

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕国家統計センサス局 (INDEC)

2020年の消費者物価上昇率は36.1%だったが、前年の53.8%から大きく低下した。主な要因は、生活必需品の価格を2020年3月6日時点の価格に据え置くプレシオス・マクシモス制度の導入、公共料金の価格凍結などだ。いずれも、新型コロナの感染拡大による国民生活への影響を抑えるためだが、消費者物価上昇率が実質賃金の伸びを上回ったため購買力が低下し、民間消費の低迷につながった。

通貨安の流れも止まらず、2020年末値は1ドル当たり89.87ペソ（アルゼンチン中銀発表）と、年初から4割下落した。通貨安はインフレにつながるとともに、通貨防衛を目的とした為替介入で外貨準備高の減少にもつながった。2020年末の外貨準備高はグロスで356億ドルだが、ネットでは対外債務の支払いが困難になる水準にまで減少したとみられる。資本の流出を抑制するために資本取引規制を強化した結果、資本財、中間財の輸入が滞った。資本財、中間財の多くを輸入に依存しているため幅広い産業の生産活動、輸出に影響を及ぼした。

新型コロナの感染拡大による長期の行動制限措置も打撃となった。2020年3～11月まで諸外国からの観光客の受け入れを停止した。国内の人出も減少し、飲食店の営業も制限された。製造業は4～5月にかけて生産がストップした。稼働率が2019年並みに戻ったのは第3四半期になってからだ。

■2021年も新型コロナ以前の水準に戻らない見込み

2021年は景気回復が見込まれるが、2020年の落ち込みを取り戻すには至らないとみられる。通貨安、高インフレ、購買力の低下、行動制限措置の継続に加えて、主要債権国会議（パリクラブ）やIMFとの債務問題が経済回復の足かせとなっているからだ。2020年8月に政府と民間債権者が650億ドルの債務再編で合意した一方で、IMFとの450億ドルの債務再編交渉を開始した。パリクラブの債務25億ドルと共に2022年3月までの合意を目指す。新型コロナの感染拡大による行動制限措置は徐々に緩和されているが、国内でのワクチン接種に遅れが生じており先行きは不透明だ。

■貿易額は2009年以來の1,000億ドル割れ

2020年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比15.7%減の548億8,400万ドル、輸入は同13.8%減の423億5,600万ドル、貿易収支は125億2,800万ドルの黒字だった。輸出入額を合わせた貿易額は、2009年以來初めて1,000億ドルを下回った。

輸出を品目別にみると、輸出全体を最も押し下げたのは工業製品（構成比24.3%）だった。主要輸出先であるブラジルの景気低迷の影響を受け、陸上輸送機器が前年比40.2%減と大きく落ち込んだ。主要国・地域別にみると、最大の輸出相手国であるブラジル、相手国2位の中国（香港・マカオ含む）ともに大きく減少した。

輸入を品目別にみると、資本財から中間財、消費財に至る全ての品目で減少した。通貨下落による輸入価格の高騰とインフレから消費が低迷したほか、資本取引規制で輸入代金決済用外貨の取得が困難になったためだ。主要国・地域別にみると、ほぼ全てで前年比減となった。輸入額全体を押し下げたのは主にEU、米国、ブラジルだった。

アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイの4カ国が加盟するメルコスールは現在、韓国、シン

表2 アルゼンチンの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル, %)

輸出 (FOB)	2019年				2020年				輸入 (CIF)	2019年				2020年			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
一次産品	17,520	16,216	29.5	△ 7.4	資本財	8,478	7,374	17.4	△ 13.0								
穀物	9,407	9,007	16.4	△ 4.3	輸送機器を除く資本財	6,690	5,405	12.8	△ 19.2								
油糧種子	4,094	3,424	6.2	△ 16.4	産業用輸送機器	995	972	2.3	△ 2.3								
農畜産物加工品	23,962	21,788	39.7	△ 9.1	中間財	17,132	16,765	39.6	△ 2.1								
食品産業残留物	9,516	8,469	15.4	△ 11.0	産業用資材	13,460	12,758	30.1	△ 5.2								
食物油脂	4,699	4,806	8.8	2.3	産業用食糧・飲料	1,710	2,090	4.9	22.2								
食肉および加工品	3,945	3,419	6.2	△ 13.3	燃料・潤滑油関連品	4,446	2,640	6.2	△ 40.6								
工業製品	19,211	13,313	24.3	△ 30.7	資本財部品	10,124	7,592	17.9	△ 25.0								
陸上輸送機器	6,455	3,860	7.0	△ 40.2	消費財	6,314	6,015	14.2	△ 4.7								
化学製品	3,841	3,174	5.8	△ 17.4	非耐久消費財	1,657	1,501	3.5	△ 9.4								
金属製品	2,057	1,265	2.3	△ 38.5	半耐久消費財	1,624	1,389	3.3	△ 14.5								
機械・電気機器	1,372	1,065	1.9	△ 22.4	医薬品	1,104	1,066	2.5	△ 3.4								
燃料・エネルギー	4,422	3,568	6.5	△ 19.3	家庭用加工食品	756	730	1.7	△ 3.4								
燃料・ガソリン	2,019	1,425	2.6	△ 29.4	耐久消費財	550	539	1.3	△ 2.0								
原油	1,483	1,077	2.0	△ 27.4	乗用車	2,362	1,614	3.8	△ 31.7								
合計 (その他含む)	65,115	54,884	100.0	△ 15.7	合計 (その他含む)	49,125	42,356	100.0	△ 13.8								

[注] 2019年は暫定値、2020年は推計値
[出所] 国家統計センサス局 (INDEC)

表3 アルゼンチンの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル, %)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
南米南部共同市場 (メルコスール)	12,690	10,010	18.2	△ 21.1	12,243	11,284	26.6	△ 7.8
ブラジル	10,386	7,956	14.5	△ 23.4	10,094	8,649	20.4	△ 14.3
チリ	3,079	2,889	5.3	△ 6.2	537	539	1.3	0.5
その他のラテンアメリカ統合連合 (ALADI)	3,664	2,976	5.4	△ 18.8	1,963	1,634	3.9	△ 16.8
米国、メキシコ、カナダ	5,430	4,190	7.6	△ 22.8	7,733	5,654	13.3	△ 26.9
米国	4,037	3,267	6.0	△ 19.1	6,217	4,366	10.3	△ 29.8
EU27	8,822	6,719	12.2	△ 23.8	8,947	6,625	15.6	△ 26.0
英国	n.a.	570	1.0	n.a.	n.a.	386	0.9	n.a.
スイス	1,690	1,022	1.9	△ 39.5	404	420	1.0	3.8
ASEAN	6,351	5,848	10.7	△ 7.9	2,685	2,489	5.9	△ 7.3
中国 (香港・マカオ含む)	7,053	5,394	9.8	△ 23.5	9,267	8,664	20.5	△ 6.5
韓国	843	692	1.3	△ 17.9	502	365	0.9	△ 27.2
日本	453	317	0.6	△ 29.9	895	724	1.7	△ 19.2
インド	2,156	2,510	4.6	16.5	809	801	1.9	△ 1.0
中東	3,304	3,193	5.8	△ 3.3	533	482	1.1	△ 9.5
マダガスカル諸国およびエジプト	3,318	2,905	5.3	△ 12.4	413	542	1.3	31.3
南部アフリカ関税同盟 (SACU)	603	341	0.6	△ 43.4	138	124	0.3	△ 10.1
大洋州	669	730	1.3	9.0	260	158	0.4	△ 39.1
合計 (その他含む)	65,115	54,884	100.0	△ 15.7	49,125	42,356	100.0	△ 13.8

[注] 2019年は暫定値、2020年は推計値
[出所] 国家統計センサス局 (INDEC)

ガポール、カナダ、レバノンとのFTAを交渉中だが、2020年はほとんど進展がなかった。マウリシオ・マクリ前政権から一転して閉鎖的な経済政策を採るアルベルト・フェルナンデス政権は、後に撤回したものの、進行中のFTA交渉から離脱すると発表した。今後もFTA交渉に大きな進展は見込めない状況だ。

■厳しい投資環境で対内直接投資は減少

国家統計センサス局（INDEC）によると、2020年の対内直接投資額は前年比約5割減の27億2,500万ドルだった。2019年12月に発足した左派のフェルナンデス政権下での、対外債務問題、資本取引規制の強化、経済政策の不透明感により投資が集まりにくい状況となっている。ただ、自動車製造業、鉱業・エネルギー分野を中心に新規投資が発表された。

アルゼンチンから撤退する動きもみられた。小売りでは米ウォルマートが国内事業を地場資本

表4 アルゼンチンの対内直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>
(単位：100万ドル、%)

	2018年	2019年	2020年	
	金額	金額	金額	伸び率
対内直接投資	9,991	5,124	2,725	△46.8

【出所】国家統計センサス局（INDEC）

表5 アルゼンチンの主な対内直接投資案件

(単位：100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
自動車	フォード	米国	2020年1月	580	ブエノスアイレス州のヘネラル・パチェコに有する工場における次世代ピックアップトラック「レンジャー」の生産のための投資。2023年の生産開始を予定。
農業	DVA	ドイツ	2020年1月	100	ブエノスアイレス州ビラル市の地場企業を買収し、農業関連ビジネスを拡大する目的で5年間にわたる投資計画を発表。
日用品・家庭用品	ユニリーバ	英国・オランダ	2020年7月	1.5	ブエノスアイレス州マルビーナス・アルヘンティナス市に有する工場でのボディソープ、洗剤など生産を開始するため1億1,100万ペソ（約150万ドル）の投資を発表。ブラジルからの輸入を削減し、国内で生産した製品の8割を国内向け、残りをウルグアイ、パラグアイ、ボリビア向けにすることを指す。
自動車	日産自動車	日本	2020年8月	130	アルゼンチン中部のコルドバ州に有するサンタ・イサベル工場において、中長期的な生産体制の強化とともに、国内のサプライヤー開発と輸出拡大を目指すための2年間にわたる投資計画。
石油・天然ガス	ライゼン	ブラジル	2020年10月	715	大手石油会社シェルのガソリンスタンドを国内で運営するライゼンは、3年間に渡って7億1,500万ドルを投資する。3億5,000万ドルを燃料や潤滑油の生産拡大、3億ドルを石油精製工場の近代化、残りをガソリンスタンド・ネットワークの拡張に振り向ける。
鉱業	ルンディン・グループ	カナダ	2020年10月	3,000	アルゼンチン北西部のサン・ファン州における金・銅の採掘・生産のための投資計画。環境影響調査を実施しており、2025年に採掘・生産を開始予定。
鉱業	バリック・ゴールド	カナダ	2020年10月	600	中国の山東黄金礦業社と共に、アルゼンチン北部・サン・ファン州のペラデロ鉱区において金・銀の採掘の開発計画を継続するための追加投資。
食品・飲料	コンパニア・デ・セルベセリア・ス・ウニダス	チリ	2020年10月	57	ブエノスアイレス州のルハン市に有する工場におけるビールの生産拡大を目的とした投資計画。「ハイネケン」、「シュナイダー」、「インベリアル」のブランドを生産しており、ビールの国内シェア15%を占める。
自動車	スカニア	スウェーデン	2020年12月	45	アルゼンチン北部のトゥクマン州にあるトランスミッション工場の生産ユニット、サービス網強化のため、2022年までの3年間で4,500万ドルを投じる。

【出所】各社発表および報道などから作成

の企業に売却して撤退したほか、チリのファラベラも撤退に向けて事業セグメントごとに売却を進めている。製造業では、米ブライトスターがティエラ・デル・フエゴ州の電子機器組立工場を地場資本の企業に売却した。

■対日輸出が大幅減

INDECによると2020年の対日貿易は、輸出が3億1,700万ドル（前年比30.0%減）、輸入が7億2,400万ドル（同19.2%減）で、貿易収支は4億700万ドルの赤字だった。

輸出を品目別にみると、主に穀物、無機化学品および貴金属、有機化合物などが輸出額全体を押し下げた。両品目は、統計の秘密保護を理由にINDECがHSコード上2ケタしか公表していないため、日本側統計を確認すると、前者はトウモロコシの輸出量が前年比で激減、後者はリチウムの炭酸塩の輸出量、輸出単価が大きく減少した。INDECによれば、輸入では、自動車、エンジン部品などの落ち込みが輸入額全体を押し下げた。

表6 アルゼンチンの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年	2020年				2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
甲殻類	53	54	16.9	0.1	自動車部品および付属品	183	170	23.5	△ 6.8
果実・野菜ジュース	36	36	11.4	1.6	エンジンに専ら又は主として使用する部分品	54	42	5.8	△ 22.9
穀物※	39	26	8.1	△ 34.2	殺虫剤、殺鼠剤、殺菌剤、除草剤、発芽抑制剤、植物生長調整剤、消毒剤その他これらに類する物品	18	28	3.9	56.5
魚並びに甲殻類、軟体動物およびその他の水棲無脊椎動物※	29	22	6.8	△ 26.5	核酸およびその塩	22	26	3.5	16.9
酪農品、鳥卵、天然はちみつおよび他の類に該当しない食用の動物性生産品※	16	14	4.5	△ 8.3	乗用自動車その他の自動車	58	24	3.3	△ 58.3
食品工業において生ずる残留物およびくず並びに調製飼料※	n.a.	14	4.5	-	気体・真空ポンプ、気体圧縮機、換気・循環用フード	24	20	2.8	△ 15.6
軟体動物	8	14	4.3	63.5	印刷機並びにその部品	22	17	2.3	△ 24.3
天然はちみつ	13	12	3.7	△ 7.9	コック、弁その他これらに類する物品	13	16	2.2	21.4
ワインおよびブドウ搾汁	10	9	2.8	△ 9.6	電気回路の開閉用、保護用または接続用の機器並びに光ファイバーケーブル用の接続子	20	15	2.1	△ 24.5
無機化学品及び貴金属、有機化合物など※	20	4	1.1	△ 81.9	ギヤボックスその他の変速機、クランクなど	18	14	2.0	△ 19.4
その他	229	114	35.8	△ 50.4	その他	464	352	48.6	△ 24.1
合計 (その他含む)	453	317	100.0	△ 30.0	合計	895	724	100.0	△ 19.2

[注] 輸出品目の※は、統計の秘密保護を理由にHSコード2ケタのみ公表。

[出所] グローバルトレードアトラス (原データは国家統計センサス局 (INDEC))

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：4,538万人 (2020年)			
②面積：279万1,810km ² (2020年)			
③1人当たりGDP：8,555米ドル (2020年)			
④実質GDP成長率 (%)	△ 2.6	△ 2.0	△ 9.9
⑤消費者物価上昇率 (%)	47.6	53.8	36.1
⑥失業率 (%)	9.1	8.9	11.0
⑦貿易収支 (100万米ドル)	△ 743	18,228	14,631
⑧経常収支 (100万米ドル)	△ 27,084	△ 3,710	3,313
⑨外貨準備高 (100万米ドル、グロス)	63,964	42,193	35,650
⑩対外債務残高 (100万米ドル、グロス)	277,827	278,489	271,443
⑪為替レート (1米ドルにつき、ペソ、期中平均)	28.1	48.1	70.5

注1：①推計値。
注2：④2018年は暫定値、2019～2020年は速報値。
注3：⑦暫定値。
[出所] ①②④⑤⑥⑦⑧⑩：国家統計センサス局 (INDEC)、③⑨⑪：IMF

(お問い合わせ先)

海外調査部 米州課

ORB-latin@jetro.go.jp